

謹賀新年

11月号 各部隊総合戦闘射撃

師団格闘指導官養成・練成集合訓練
令和2年度弘前演習場師団統一整備
師団機能別訓練(化学)
秋田県総合防災訓練
令和2年度岩手県陸・海・空自衛隊殉職隊員合同追悼式

12月号 みちのくALERT2020

東北方面総監初度視察
令和2年度岩手山演習場秋季統一整備
警察との共同実動訓練
師団機能別訓練(衛生)
師団化学火工品技能者集合訓練

1月号 新年のご挨拶

第9師団 2020年を振り返って

各号連載 指揮官コラム「飛竜乗雲」

第20回 第39普通科連隊長 木原 邦洋
「喜々として働く」

第21回 第9高射特科大隊長 梅坪 弘一
「継続は力なり」



協同連携を発揮した総合戦闘射撃



あすなる

11月号

第9師団

長項 **プログラシヨナルであれ**
 団事 **強固な絆を築け**
 師要

第9師団（師団長・亀山陸将）は、八月二十三日から九月十日までの間、岩手山演習場において総合戦闘射撃を実施して、各戦闘団の実弾射撃を伴う攻撃における戦闘力の組織化及び各部隊・各射撃等の練度向上を目的として、各戦闘団に訓練基盤を付与し、全普通科中隊が特科・機甲科部隊と協同した総合戦闘射撃を実施した。

本訓練は、各戦闘団の実弾射撃を伴う攻撃における戦闘力の組織化及び各部隊・各射撃等の練度向上を目的として、各戦闘団に訓練基盤を付与し、全普通科中隊が特科・機甲科部隊と協同した総合戦闘射撃を実施した。

当初、第5普通科連隊（連隊長・榮村1佐）が八月二十三日から二十九日までの間、次いで第21普通科連隊（連隊長・五十嵐1佐）が九月一日から四日までの間、最後に第39普通科連隊（連隊長・木原1佐）が九月五日から十日までの間、それぞれに射撃を実施し、この間、協同部隊として第9戦車大隊（大隊長・横川2佐）及び方面特科連隊（連隊長・香川1佐）が参加した。

方面特科連隊は、本年三月の新編後、二度目の協同訓練参加となった。



普戦協同による攻撃前進（21普連）



O1ATMの車上射撃（5普連）



小銃小隊の射撃（39普連）



特級検定の実施



戦車の射撃（9戦大）



FH70の射撃（東北特連）



執銃時の2000m走（体力測定）

師団は、「令和二年度師団格闘指導官養成・練成集合訓練」を実施中である。

本訓練は、第39普通科連隊長（木原1佐）を担任官とし、部隊格闘指導官候補者に必要な知識及び技能を習得させて練度を判定し資格を付与するとともに、既に資格を付与されている格闘指導官の練成訓練及び資格更新を実施し、部隊格闘指導官の練度維持を図ることを目的としている。

当初、養成訓練に参加する隊員を選考するため、八月三十一日から九月三日までの間に特級検定を、

九月七日から十日の間に素養試験を実施した。素養試験は、かがみ跳躍、腕立て伏せ、腹筋、懸垂、2000m走（執銃時、四方受身を実施する「体力測定」、試験官から指示された技を繰り返す第1課題、武器携行時または徒手において、指導官からの攻撃を排除・制圧する第2課題の動作を繰り返して実施する「特級課題」、筆記試験の「学科」の三つで構成され、受験者は屋内・外で猛暑に見舞われたが、闘志を燃やして試験に乗り組んだ。

十四日、素養試験を見

39普連

師団格闘指導官
 養成・練成集

合訓練

事突破した隊員は、担任官からの訓示を受け、決意を新たに訓練に挑んでいる。



第2課題の実施（特級課目）



第1課題の実施（特級課目）

9化防 師団機能別訓練（化学）

第9化学防護隊（隊長・北2佐）は、八月二十五日から二十七日までの間、青森駐屯地において「令和二年度師団機能別訓練（化学）」を実施した。

本訓練は、第9化学防護隊が担任し、師団隷下各部隊の化学特技者に対する練度の維持・向上を図ることを目的に毎年度実施しており、今年度は各個及び部隊における除染について訓練した。

訓練開始において担任官から「CBRNに係る事態が生じた際、部隊・隊員を守るため化学特技者たる諸官が自信を持って職務を遂行できるように、必要な知識・技能の維持・向上に努めてもらいたい。」との訓示があり、参加者は部隊における化学特技者としての責任をあらためて認識し、訓練に臨んだ。

訓練は当初、各個の除染（緊急除染）要領について演練したが、実際の個人用除染具（個人用防護装備の付属品）を使用するのは初めての隊員もあり、緊張した表情で教官の指導を受けていた。

部隊除染では、部隊除

染所の開設・運営について演練し、特に除染所内の汚染の管理要領や統制事項等について教育を受けた後、部隊ごと除染所を開設した。開設された除染所において人員除染を実施する項には三十度を超える暑さであったが、化学防護衣を着用した参加者は真剣に訓練に励み自らの特技に磨きをかけていた。



除染所の運営



緊急除染

前場 令和二年度弘前演習場 師団統一整備

師団は、令和二年七月十三日から九月一日までの間、弘前演習場において令和二年度弘前演習場師団統一整備を実施した。

本演習場整備は、第39普通科連隊（連隊長・木原1佐）が整備担任官となり、第9後方支援連隊、第9施設大隊、第9偵察隊からの支援を受け、演習場の機能の維持・向上を目的とするものである。

機能維持整備は、荒廃した道路表面をグレード及びロードローラで整地する「機動路の補修整備」、地域の除草、軽易な道路補修、道路沿いの側溝を整備する「幹線道路補修整備」、土嚢及びビニールシートの設置、

水路変更のために側溝の形状を変化させた「機動路崩落箇所危険表示及び浸水防止処置」、機械力をもつて整地及び損傷箇所を補修をした「爆破訓練場の整備」、視界確保のため、樹木を間伐する「立木伐採」の五つの整備を実施した。

機能向上整備では、射場での小銃基本射撃並びに各個及び小部隊の戦闘射撃の基盤を確保するため、無石土による敷均し及び排水設備を構築した「射場フラット化整備」を実施した。



射場のフラット化



機動路の補修

21普連 秋田県総合防災訓練

八月三十日、第21普通科連隊（連隊長・五十嵐1佐）は、秋田県由利本荘市において実施された「令和二年度秋田県総合防災訓練」に参加した。

秋田県が主催する本訓練への参加においては、自治体及び関係部外機関等との共同連携要領について演練し、災害対処能力の維持・向上を図ることを目的としており、倒壊家屋からの救出救助訓練（以下救助訓練）、避難所開設運営訓練、防災フェアにおける装備品展示を実施した。

救助訓練では、地震及び津波によって被災した由利本荘市において、災害対策本部が災害応急対応を実施した。

救助訓練では、地震及び津波によって被災した由利本荘市において、災害対策本部が災害応急対応を実施した。



瓦礫の除去



防災フェアでの装備品展示

飛竜乗雲（ひりゅうじょううん）
「喜々として働く」
第39普通科連隊長 1等陸佐 木原邦洋

最近、調べものをしていて、エジプトのピラミッドの新定説を知った。どうやら最近のことではなく、単に私の勉強不足で最近知っただけだが、紹介したい。ご存知の通り、ピラミッドは巨大な石を積み上げた建造物だが、その作業工程は、①石を切り出す、②石を運ぶ、③石を積み上げる3つの行程となる。有名なクフ王のピラミッドであれば、その大きさは底辺の一边が約230メートル、高さは約146メートルで、使われた石材の体積は東京ドーム2杯分になる。これをトラックもクレーンもない時代に、砂漠で人力により作業することは、長期の防衛訓練を実施した経験のある自衛官なら、その大変さは容易に想像できるどころか、想像を絶する重労働であろう。

九月五日、岩手駐屯地慰霊碑前において「令和二年度岩手県陸・海・空自衛隊殉職隊員合同追悼式」が挙行された。

し祈りを捧げた。参列部隊は、国防という崇高な任務の礎を築いた御霊の遺志を引き継ぎ、いかなる任務も即動式には、関係市町村長をはじめとするご来賓、駐屯地各部隊長が参列し、陸・海・空殉職隊員の冥福を祈りその遺徳を顕彰するとともに、その職に殉ぜられた御霊に対

手地 令和二年度岩手県陸・海・空 岩駐 自衛隊殉職隊員合同追悼式



儀仗隊による弔銃



第9音楽隊による追悼演奏

愛する国（地元や地域）のため、運命共同体である部隊と共に働く仲間のため、そして任務を達成した後のピールのためなら、我が連隊の隊員は、どんなに困難な任務も、鞭で叩かずとも、喜々として立ち向かっていく気がしてならない。きっと今も昔も叩かれて嫌々仕事をやる者が困難な任務を完遂できる訳がないはずである。

みちのくALERT2020

— 青森県、各市町村及び防災関係機関と連携 —



あすなる

12月号

第9師団

師団長 項三郎
 要望事項
**「プロシヨナルであれ
 強固な絆を築け」**

第9師団（師団長・亀山陸将）は、十一月十一日・十二日の二日間、「みちのくALERT2020（実動訓練）」を実施した。



車両除染訓練



住民避難訓練（空路）



物資輸送訓練

師団は、東通オフサイトセンター及び青森県市町村の計画した場所において、「みちのくアラート2020（実動訓練）」を実施した。本訓練は、原子力災害に係る各種支援活動を練成し、原子力災害対処能力の維持・向上を図るとともに、災害発生時における現地での自治体及び関係機関との更なる連携強化を図ることを目的とするものである。十一月十一日は、東通オフサイトセンターヘリポートにおいて、第9飛行隊の統制の下、照明誘導による夜間離着陸訓練を実施した。翌十二日は、第9飛行隊が旧小田野沢小中学校及び旧南部中学校から東通オフサイトセンターヘリポートまでの「住民避難訓練（空路）」、第9化学防護隊による野辺地町行政メモリアルセンターにおける「車両除染訓練」、第5普通科連隊による東通村役場及び東通村体育館における「物資輸送訓練」をそれぞれに



防災関係者との調整

実施した。住民避難訓練（空路）は、孤立したPAZ（※1）からの住民避難支援という想定で、要避難対象（県職員四名、UH-1（多用途ヘリコプター）に搭乗させ、東通オフサイトセンターヘリポートまでの空輸を実施した。車両除染訓練では、UPZ（※2）から離脱してきた緊急車両に対する除染を行った。物資輸送訓練においては、大型トラックをもって物資集積所（東通村役場）から避難場所（東通村体育館）までの非常食等の輸送を実施した。本訓練の実施担当を通じて、震災等に係る原子力災害対処能力の維持・向上及び青森県をはじめとする防災関係機関との現地における連携強化を図った。

- ※1 予防的防護措置を準備する区域
- ※2 緊急防護措置を準備する地域

第9師団は、十一月十日から十七日までの間、岩手山演習場において、令和二年度岩手山演習場秋季統一整備」を実施した。本演習場整備では、第9師団長が整備担任官となり、副師団長を整備隊長として、演習場の各種訓練施設、管理施設、機動路等の演習場機能を維持・向上させることを目的に、師団隷下十三個部隊及び方面特科連隊、第2施設団を含む約二千名が参加し、機能改善・向上整備、構造改革整備、その他の整備の三つに区分して整備を実施した。当初、同演習場において、整備隊本部企画統制部が全部隊に対する安全教育を実施後、野整備部隊等を対象に、演習場整備器材X型（ウッドチップ）の取扱い及び整備要領を教育して事故の絶無を図った。機能改善・向上整備で

練磨の

令和
岩手



青森駐屯地及び弘前駐屯地は、十月二十日及び二十一日、それぞれ東北方面総監の視察を受けた。東北方面総監は、各駐屯地に所在する部隊長等

東北

青

各方面総監 初度視察

青森駐屯地・弘前駐屯地

に出迎えられた後、慰霊碑献花、写真撮影、状況報告（幹部挨拶）、施設巡視、部隊長との懇談、幹部及び陸曹との懇談を実施した。

は、防衛館を視察され、旧陸軍第8師団の歴史を主とした資料及び展示物を見学するとともに、弘前駐屯地においては、営内居室を巡視する等、各施設の状況を把握した。



幹部との懇談 (青森駐屯地)



営内居室の巡視 (弘前駐屯地)

道場を整備

二年度 山演習場秋季統一整備



戦車戦闘射場の伐採



機動路等の改修

は、総合戦闘射撃の基盤となる小火器戦闘射撃、戦車戦闘射場の拡張及び多機能化等の改修を実施し、より実戦的な射撃訓練基盤を構築した。

構造改革整備では、部隊の機動発揮を容易にするため、機動路及び排水設備の新設並びに改修を実施した。

また、その他の整備においては、訓練施設及び幹線道路の維持補修、弾着地整備、廠舎地区整備

並びに法面補修等、演習場の機能を維持するため整備を実施した。併せて、参加部隊は、本整備の場を隊務の総合一体化の機会と捉え、任務遂行能力の向上、服務指導及び指揮の要訣の実践による実員指揮能力向上に取り組んだ。

また、十三日、方面総監の視察を受け、状況を報告するとともに、現場の整備状況を確認、指導

更なる連携強化の 必要性を確認

警察との共同実動訓練

第21普通科連隊（連隊長・五十嵐一佐）は、十月二十二日、秋田駐屯地において、第1中隊（中隊長・中島三佐）約四十名と秋田県警約五十名による共同実動訓練を実施した。



パトカーの先導による緊急輸送訓練

本訓練は、治安出動下における自衛隊と警察相互の任務区分に基づく緊密な連携要領を演練し、対処能力の向上を図ることを目的として、秋田県内への武装工作員の不法侵入に対し、自衛隊に治安出動が下令されたという想定で実施した。

当初、秋田県警のパトカーの先導による緊急輸送訓練を実施し、部隊の前進要領を演練した。その後、共同検問における各種対処要領及び共同調整所の設営・運営要領を演練した。

特に、共同検問において、秋田駐屯地の隊員を武装工作員として運用した襲撃を実施すると

もに、警察側もバトラ（赤外線交戦装置）を装着して交戦状況を確認する等、各種対処要領について演練した。この際、訓練をよりリアルに行うため、自衛隊のドローンを活用し、不審者の追跡を実施した。

また、治安出動下における活動状況の配信を目的とした動画配信者が接触してきた状況を付与し、その対応を演練するとともに、警察から適切な対応要領についてアドバイスを受けた。

訓練終了後に行われた合同研究会においては、本訓練での成果と教訓をもとに、自衛隊と警察の相互連携要領について検討し、活発に意見を交換した。

今回の訓練において自衛隊と警察は、共同連携の重要性を再認識するとともに、密接な連携と強固な信頼関係をより深めた。

衛生救護能力の向上

師団機能別訓練(衛生)

師団は、十一月四日から六日までの間、青森駐屯地において、師団内衛生科隊員の衛生救護能力の向上を図ることを目的として、師団機能別訓練（衛生）を実施した。

本訓練は、第9後方支援連隊衛生隊（隊長・椎屋三佐）が担任部隊となり、師団隷下八個部隊及び青森駐屯地業務隊の衛生科隊員が参加し、冬季を想定した収容所治療訓練を実施した。

初日である四日は、全般説明を実施した後、収容所治療（各種手技訓練）として、観察要領、輪状甲狀腺帯切開、胸腔ドレ

ナージ・静脈路確保等の気道・呼吸・循環管理に必要な処置及び医官の介助要領について演練した。

翌五日は、総合訓練として、連隊収容所における医官と連携した収容所治療を一連の流れで実施した。その後、寒冷損傷の対処要領として、病態生理・治療を含めた傷病の理解及び冬季を想定した連隊収容所の一案について展示・説明を実施した。

最終日六日には、冬季を想定した連隊収容所における寒冷損傷対処訓練を実施したほか、参加隊員による意見交換を行



収容所治療の状況

い、衛生科職種隊員として、傷病者に対する処置要領等について認識の統一を図った。

各部隊は、本訓練で得た成果をもとに、今後とも練成訓練を継続して、衛生機能の練度向上を図っていく。

化学火工品取扱の連携動作の確認

師団化学火工品技能者集合訓練

師団は、十月二十六日から三十日までの間、岩手駐屯地及び岩手山演習場において、化学火工品技能者の練度向上を図ることを目的として、「令和二年度化学火工品処理技能者集合訓練」を実施した。

本訓練は、第9化学防護隊（隊長・北2佐）が担任となり、師団隷下八個部隊計二十一名が参加し、火薬類取締法、火薬類の取扱い、化学火工品の取扱い及び処理要領を

課目とする訓練を実施した。

二十六日は、火薬類取締法及び関係文書・教範等に加えて、事故事例を踏まえた安全管理及び学科教育を実施した。

翌二十七日からは、各種展示を通じて、化学火工品の取扱い全般に関する安全事項の指導を実施した後、発煙黄りん手りゅう弾をはじめとする各種化学火工品の取扱いについて演練した。



化学火工品の取扱いの状況

において、安全な作業間隔、衝撃・接触（摩擦）、火傷・裂傷及び打撲等、注意喚起の徹底を図りつつ、取扱い及び処理における連携動作を確認した。

飛竜乗雲 (ひりゅうじょううん)

「継続は力なり」

第9高射特科大隊 2等陸佐 梅坪弘一

冒頭からゴルフの話で恐縮ですが、先日やっと100を切る事が出来ました。ゴルフをやり始めて六年、長い道のりでしたが、次はさらに目標を上々に設定し、継続して練習に励もうと思っております。【継続は力なり】は、一般的には何事も継続すれば成功につながるという意味で、誰でも目標をもって続ければ成功する、夢を叶えることができるということわざです。成功するために、やみくもに頑張るだけではなく反省することが必要と言われています。

将棋界では、感想戦というものを実施するのですが、対局でそれぞれの場合で自分が何を考えたのかを語り合い、より良い一手があったのかを共同作業で探求するそうです。

我々も、訓練終了後に研究会(AAR)を実施しますが、何が良かったのか、どうすれば良かったのかを真剣に考えることが成長の近道だと思います。また、継続するためには好きになることが大きな要素ですが、その反面、きついことや嫌なことが生起するも事実です。生活していくには仕事をしなければいけません。が、そのような職務でも楽な仕事はありませぬ。特に自衛官という職を続けていくには、厳しい訓練、職務換え、転属等の様々な試練があります。入隊して間もない頃は、想像していたのと違う、自分には向いていないと思いがちですが、そこでやめるという選択ではなく、二年間は継続するというような短期目標を設定し、目の前のことをがむしゃらにやり続ける。今は結果が見えなくても、努力が報われなくても頑張つて継続していれば、いつかは自信を持って職務を遂行できると信じて自衛官という職業を継続してみたいかがでしょうか。

「続けて良かったな」と入隊から三十五年が経ち、今思う気持ちです。



あすなる

1月号

第9師団

長項
師要
望事
強固な絆を築け

謹賀新年



第9師団長

陸将

亀山 慎二

第9師団の隊員及びご家族の皆様、東北各県の協力団体・関係機関並びに地域の皆様、明けましておめでとうございます。皆様が健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年一年間の隊員諸官一人一人の職務に対する精励と、関係各位の第9師団に対するご理解とご協力に対しまして、改めて感謝を申し上げます。

さて、我々を取り巻く安全保障環境は、質・量に優れた軍事力を有する国家が集中した厳しい状況が続く中、軍事力のさらなる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著となっております。令和元年以降、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、落ち着く状況になく、国際社会が連携して対応すべき課題となり、同ウイルスが安全保障面に与える影響についても注視が必要であります。国内においても、大規模な自然災害のみならず、新型コロナウイルス等感染症等に対しても対応することが求められております。

このような状況の中、北東北3県の防衛・警備に万全を期すため、師団として常に危機感をもって物心両面の準備を万全にし、関係機関と連携し迅速な対応ができる即応態勢の維持・向上を図るとともに、健全な部隊・隊員を育成し、厳しい教育訓練を継続して、各種脅威に対する抑止及び対応能力の向上を図り、任務を完遂する所存であります。

わが国の防衛のため、隊員一人一人がプロフェッショナルであることを目指し、部隊の強固な絆を築き、何時如何なる状況においても「即動必遂」できる師団を、隊員とともに汗を流して育成していくことを新年にお誓いいたします。

最後になりますが、第9師団の隊員をはじめ協力団体・関係機関並びに地域の皆様にとりまして、本年が輝かしく希望に満ちた躍進の年となることを心から祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



第9師団

最前任上級曹長

准陸尉

綿引 光佐

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、現在、我が国を取り巻く国際情勢や社会環境は、極めて速いスピードで変化しており、厳しさと不確実性を増しております。今回のコロナ禍もその一つと言えるかもしれません。これまで当たり前とされてきたことが、通用しなくなるような状況が生じるようになる中、我々は情報や変化に対するアンテナを高くして、新たなことを学び吸収し、創造性や柔軟性を発揮し、あらゆる事態に「即動必遂」し得る力を養っていかねばなりません。

年頭にあたり、師団最前任上級曹長としてさらなる師団の精強化のため、揺るぎない信念をもって、准曹士の先頭に立ち邁進して参ります事をお誓い申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

— 第9師団 2020を振り返って —

主要行事等

- 1月** 米国における米陸軍との実動訓練
（1月2日～2月6日…39普通連）
各部隊訓練始め
各駐屯地成人式
師団機能別訓練（衛生・対空）
八甲田演習（5普通連）
- 2月** 岩手県警察との共同実動訓練（9特連）
師団冬季競技競技会
- 3月** 11月入隊自衛官候補生修了式
第34代第9師団長
岩村公史陸将 離任行事
第35代第9師団長
亀山慎二陸将 着任行事
部隊長離・着任行事
（9施大・9偵・9音）
第9特科連隊廃止行事
- 4月** 第一次師団指揮所演習
自衛官候補生（青森・秋田）入隊式
師団レンジャー養成集合教育開始
- 5月** 自衛官候補生10km徒歩行進訓練
師団レンジャー養成集合教育
（山地潜入総合・水路潜入・空路潜入）
- 6月** 岩手山演習場春季統一整備
国際緊急援助隊総合訓練
北海道訓練センター（HTC）
第二回運営参加（39普通連）
各駐屯地自衛官候補生修了式
- 7月** 部隊計画実射訓練
（5普通連・21普通連・9後支連）
師団レンジャー帰還式
国際緊急援助隊派遣態勢維持開始
部隊長離任行事（9後支連）
短SAM対空実射検閲（9高大）
- 8月** 部隊長着任行事（9後支連）
偵察部隊等訓練
師団機能別訓練（化学）
総合戦闘射撃
（5普通連・21普通連・9後支連）
秋田県総合防災訓練（21普通連）
- 9月** 岩手県陸・海・空自衛隊
殉職隊員合同追悼式
師団12・7mm重機関銃対空実射訓練
空中モニタリング協同訓練
（9飛・9化防）
師団機能別訓練（通信）
- 10月** 師団長感謝状贈呈式
10月入隊自衛官候補生入隊式
師団射撃競技会
警察との共同実動訓練（21普通連）
師団化学火工品技能者集合訓練
- 11月** 師団機能別訓練（衛生）
岩手山演習場秋季統一整備
みちのくアラート2020（実動訓練）
師団夏季訓練検閲
（9高大・9通大・9飛・9化防）
- 12月** FTC訓練（5普通連）
みちのくアラート2020（図上訓練）



10月 師団射撃競技会



7月 短SAM対空実射検閲



4月 自衛官候補生（青森・秋田）入隊式



1月 米国における米陸軍との実動訓練



11月 師団夏季訓練検閲



8月 総合戦闘射撃



5月 師団レンジャー養成集合教育（ロープ橋）



2月 師団冬季競技競技会



12月 FTC訓練



9月 師団機能別訓練（通信）



6月 岩手山演習場春季統一整備



3月 第35代第9師団長亀山慎二陸将着任行事

働けない日々の、暮らしをささえる。

はたらくささえ^{プラス}

就業不能保障特約(2020)

青森支社オリジナルご当地キティ



Hello Kitty
©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. G603423

ちょっどいい、わたしの保険
未来のとびら
特約組立型総合保険

「はたらくささえプラス」は、さまざまなリスクに対応した特約を組み合わせて作れる複合型保険「未来のとびら」のひとつです。

ご検討の際には、「保険設計書(契約概要)」「特に重要な事項のお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-定款・約款」を必ずご確認ください。 ☎広-077-??? (2020.2.?)

富国生命保険相互会社 青森支社
〒030-0861 青森市長島 2-10-3 ☎017-776-2194

すてきな未来応援します
フコク生命

建設から暮らしまで。

明治16年、カクヒロはモノづくりの会社「弘前農具会社」として設立しました。人に恵まれ、地域に育てられ、皆様と共に歩んで参りました。業務拡大はもとより、新規事業にも参入し今年でカクヒロは137年。新たな時代に向けて皆様暮らしをお手伝いいたします。

(株)角弘
スチール加工センター



新商品
プロテオグリカン配合
遠野のカップ
フェイスパック

男鹿のナマハゲ
フェイス
パック

青森のなまはげ
フェイスパック

プロテオグリカン配合商品専門店
アレック

青森県内に16箇所の
サービスステーションを展開中!

シャフトイレ全店完備



いきいき自然栽培「カルリン」

カルリン

毎日の暮らしから健康と食生活の向上や作物がもつる未来のカタチを応援します。





街の未来を考えています。

青森三菱電機機器販売株式会社

本社 / 青森市中央1丁目23-4 TEL.017-735-7800

青森支店 / 青森市緑田3丁目1-4 TEL.017-766-2390
八戸支店 / 八戸市御センター2丁目7-28 TEL.0178-28-1541
弘前支店 / 弘前市大字神田1丁目1-2 TEL.0172-34-3207
仙台支店 / 仙台市青葉区花京院1丁目1-20 花京院スクエア9F TEL.022-216-4649
盛岡営業所 / 盛岡市盛岡駅前通3-63 第2基ビル3F TEL.019-681-2853

ホームページもご覧ください。URL <http://www.ame.co.jp>

〈みちのく〉カードローン

お使いみちは自由。急な出費にも便利なカードローン。



とことん頼れる

家庭の銀行

みちのく銀行
<http://www.michinokubank.co.jp>

くわしくは、店頭またはホームページに説明書をご用意しております。お気軽にお近くの〈みちのく〉へ。

生命保険は、愛する家族への想い。

そして、保険金をお届けすることが私たちの使命です。

“As safe as the Rock” ~ジブラルタ・ロックのように安心~

ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8km、高さ400mにもおよぶ巨大な岩山“ジブラルタ・ロック”が、ジブラルタ生命の社名の由来です。親会社ブルデンシャル・ファイナンシャルのシンボルである“ジブラルタ・ロック”は、時を経ても変わらない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。



ジブラルタ生命

青森第二営業所 〒030-0802 青森市本町1-3-9 ニッセイ青森本町ビル9F TEL.017-721-1810
弘前営業所 〒036-8001 弘前市代官町17 明治中央ビル7F TEL.0172-32-7245
八戸第一営業所 〒031-0084 八戸市十八日町番地 ジブラルタ生命八戸ビル2F TEL.0178-71-3505
八戸第二営業所

【コールセンター】0120-37-2269 【ジブラルタ生命ホームページ】<https://www.gib-life.co.jp/>
【受付時間】平日9:00~18:00 土曜9:00~17:00 (日曜・祝日・12/31~1/3を除く) 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。通話料無料。

防衛省 職 員 団 体 傷 害 保 険

家族 退職後

総合賠償型(特約)	日常生活で他人を傷つけたり財物を壊したときの備え
親介護補償型(特約)	親御さんが要介護状態となった場合の備え
団体長期障害所得補償保険	病気がけがで働けなくなったときの所得減少への備え

防衛省 共済組合が ん 保 険

団体取扱 (アフラック)

<お見積・資料請求 <http://webby.afac.co.jp/bouei/>>

防衛省 共済組合 火 災 保 険

☆その他 各種損害保険

【取扱代理店】 **弘済企業株式会社**

詳しくは、下記の各駐屯地保険常駐員にご相談ください。
青森：成田、後藤(内線6374) 八戸：小田桐、牟田(内線3365)
弘前：武田(内線478) 岩手：菅原(内線343) 秋田：小玉(内線270)